

Windows8,10 と署名なしドライバをインストールする方法

<http://www.besttechnology.co.jp/modules/d3blog/details.php?bid=119>

USBを使用したサードパーティの inf ファイルは、Windows に用意された [Usbser.sys ドライバを参照する](#) 事が多いと思います。ところが、Windows 8,10(x64)ではデフォルトで inf ファイルに**デジタル署名**がなされている事が前提となっており、デベロッパにとって Windows 8 を採用する際の妨げとなっている様です。Windows 7 より以前であればドライバのインストール時にデジタル署名を無視する事で適用できましたが、Windows 8,10 ではがんとして拒否します。

それでは使い物にならないという事で、Windows 8,10 においてデジタル署名が無い inf ファイルを適用する際の最も簡単な手順を以下に示します。

1. コマンドプロンプトを管理者権限で起動。

(Windows10 の場合、デスクトップの左下にある「Windows」マークを右クリックすると、「コマンドプロンプト(管理者)」があるのでこれをクリックする。または、下図のように検索欄に「コマンド」と入力して、「管理者として実行」をクリックする。

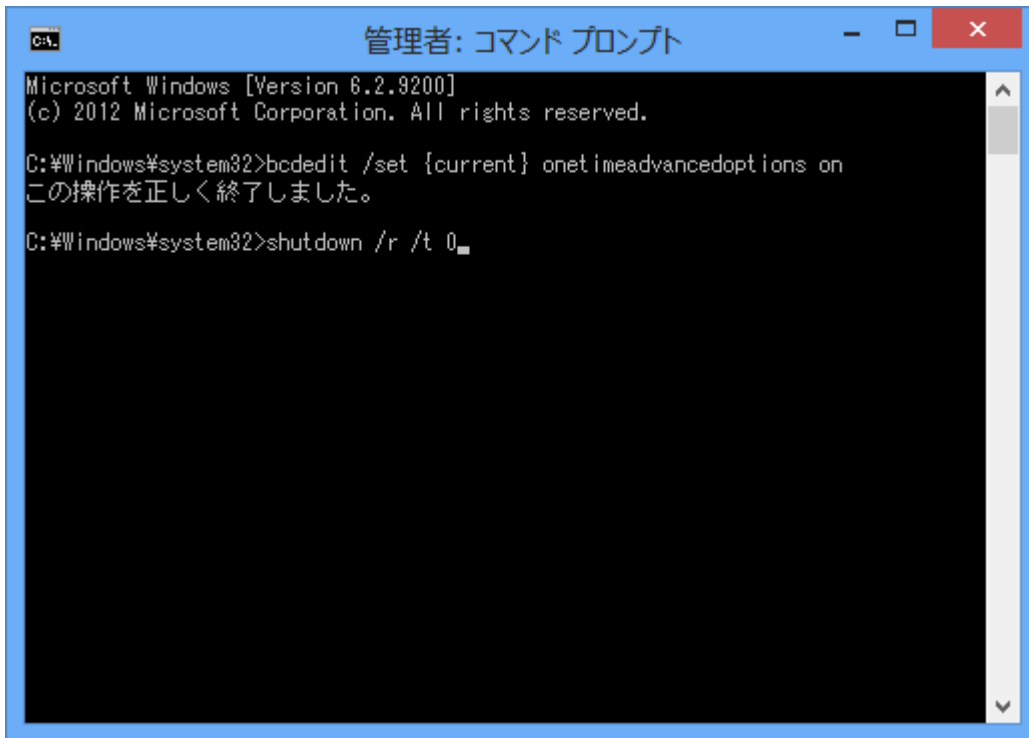


2. bcdedit コマンドで**次回起動時**の設定変更を行った後に Windows を再起動。

下図のプロンプトを参照してください。

```
bcdedit /set {current} onetimeadvancedoptions on
```

shutdown /r /t 0

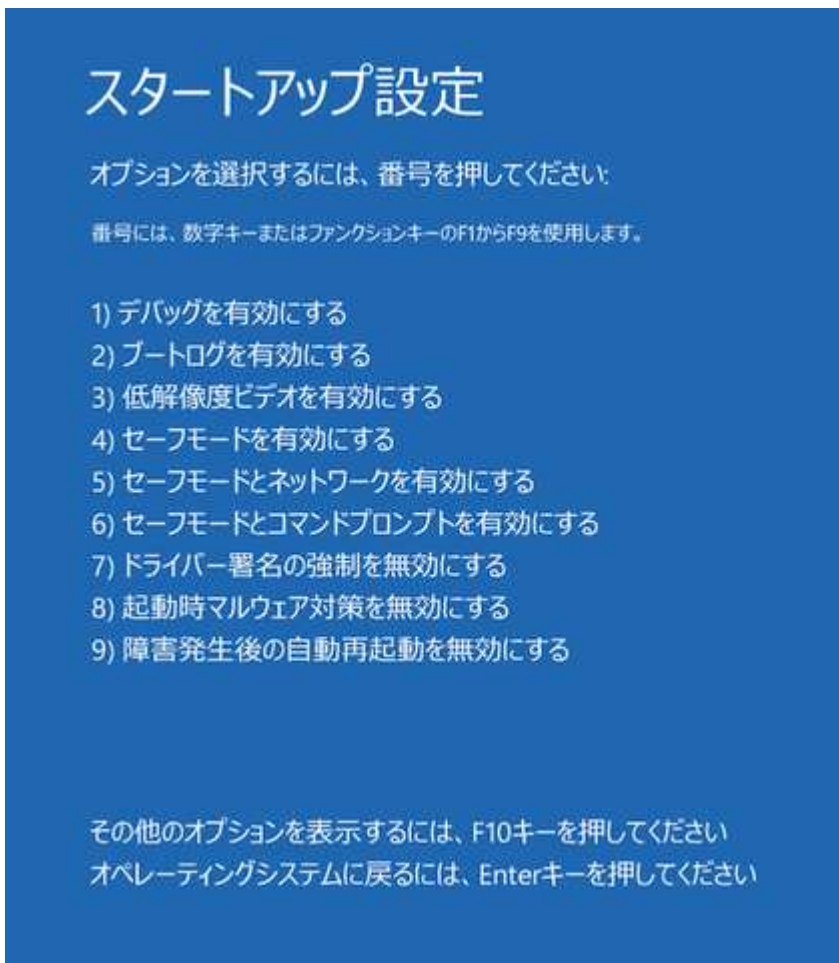


```
管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\system32>bcdedit /set {current} onetimeadvancedoptions on
この操作を正しく終了しました。

C:\Windows\system32>shutdown /r /t 0
```

- 再起動後スタートアップ設定画面になるので、7)の「**ドライバー署名の強制を無効にする**」を選択。



スタートアップ設定

オプションを選択するには、番号を押してください。

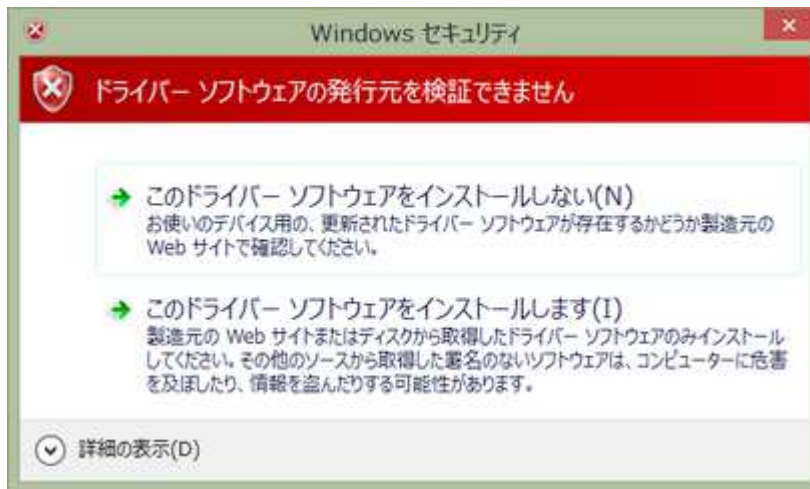
番号には、数字キーまたはファンクションキーのF1からF9を使用します。

- 1) デバッグを有効にする
- 2) ブートログを有効にする
- 3) 低解像度ビデオを有効にする
- 4) セーフモードを有効にする
- 5) セーフモードとネットワークを有効にする
- 6) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする
- 7) **ドライバー署名の強制を無効にする**
- 8) 起動時マルウェア対策を無効にする
- 9) 障害発生後の自動再起動を無効にする

その他のオプションを表示するには、F10キーを押してください

オペレーティングシステムに戻るには、Enterキーを押してください

4. 普通にログインし、認識させたい USB デバイスを PC に接続して通常通りドライバをインストール。途中 Windows のセキュリティメッセージダイアログボックスが表示されたら、「このドライバーソフトウェアをインストールします(I)」を選択。この間 Windows を再起動してはいけません(要するにこの間だけ有効となる)。



これ以後は特殊な操作無く、今迄通りデバイスが使用できるようになるはずですが。再起動の度にこれらの作業をする必要はありませんが、**接続する USB ポートを変更した場合は再度同じ方法でドライバをインストールしなくてはなりません。**